

蒼葉

裾野市立深良中学校だより

平成 24 年 2 月 23 日 発行

第 38 号

発行人 校長 鈴木史良

私立高入試、合格発表！

—— 受験者全員合格を果たした3年生のすばらしい力 ——

2月17日（金）、3年生が受験した私立高校の合格発表が一斉に行われました。この日の正午を期して、各私立高校から分厚い郵便物が届きました。開封してみると、合格証書をはじめ諸書類が入っていました。3年部の先生方で手際よく書類等を整理し、合格した生徒たちに配付する書類を準備しました。授業終了後、校長室で受験校別に合格発表及び、合格証書の授与が行われました。そのときの様子が3年学年だより「PRIDE」に詳述されていきましたので、ここに一部紹介いたします。

<3年学年だより 2・20 発行>より

帰りの会も終わり、全員が荷物をもって図書室に移動しました。いよいよ合格発表の

始まりです。自分の合格を祈りながらも、「もし自分の分だけなかったら……。」なんて心配が頭をかすめます。前のグループが校長室に入っていくのを確認し、さあ次は自分の番……、緊張がピークに達します。

名前を呼ばれ、校長先生から「合格通知書、深良中学校、〇〇〇〇さん！ よかったね。合格おめでとう！」と声をかけられ、震える手で証書を受け取りました。職員室で先生方にもお礼を言い、廊下に出てようやく緊張から解放されて初めて顔がほころびます。合格を実感した瞬間です。

外へ出て仲間と喜びを分かち合います。もうこうなると満面の笑みです（笑）。達成感を味わい、心の底から喜びがわいてくる瞬間というのは、見ていると本当に感動します。生徒たちの笑顔がとてもまぶしく見えました。

3年生の皆さん、私立合格ほんとうにおめでとうございます。3年部の先生方も自分のことのようにうれしく思います。私立単願の人はここで進路決定です。決められた期日までに入学の手続きを確実にを行い、新しく始まる高校生活に向けて課題に取り組みましょう。公立受験を残している人はもうひと頑張りです。自分の目標が達成できるよう最善を尽くしてください。学年全員の進路が決定するまで、みんなで気を引きしめて生活しま



校長室での緊張の一瞬！



合格証書を手に入れます



喜びに満ちあふれる顔、顔！

しょう。私立高校受検者48名全員が、希望の科・コースで合格することができました。

<3年B組学級通信『一所懸命』>より

不安な気持ち・・・

昨日のスタプラ（予定帳）に、「私立の合格、逆に不安になった。」という内容が書かれていました。自分の進む道に対して一気に現実味が増した証拠だね。昨日も話をしましたが、公立高は私立高のように『全員合格』というわけにはいかない可能性があります。だからこそ不安が生まれるんだよね。毎日違う人が「先生、この進路で本当に大丈夫かな？」と相談してきます。でも、公立高を受験する中学3年生がみんな抱えている不安です。ほんとうに様々な思いを抱いての2週間になると思う。2週間後のこの時間、公立高受験者17人はそれぞれの受験校で緊張しているでしょう。泣いても笑っても公立受験まで2週間です。この気持ちはみんな通ってきた道。私もそうでした。もうここからは自分との戦い。家族も先生も、周りは応援することしかできないからね。あとは自分の頑張りだけ。やるだけのことはやりきろう。みんな頑張り！



深中生を応援する「のぼり旗」が完成！！

ある日の授業風景

3年 技術・家庭「動く模型づくり」

授業者 勝又 秀彦

「部品がうまく加工できない。」「部品が付いたけど動きが悪い。」「穴の位置を間違えた。」生徒たちの困った声が聞こえてきます。普段の生活の中で体験したことがないことばかりです。3年生の技術領域「技術とものづくり・・・エネルギー変換」の授業です。オルゴールを動力にし、クランク・カムを使い動力伝達の仕組みを学習します。この授業では、設計図を読み解きながら部品を加工し、組み立てていきます。設計図は第三角法でかかれており、図の苦手な生徒は苦戦しています。「この部品はここに付くんだよ。」「この加工はやすりで磨くんだよ。」作業が進んでいる生徒が、遅れ気味の生徒に声をかけながら自分たちで進めてきます。深良中の3年生は仲の良い生徒が多く助け合って作業を進めていくことができます。技術・家庭科の授業も残り少なくなってきました。あと少しで全員完成です。

